

VERMEC

インデックスアタッチメント

インデックスアタッチメントのピンの穴



1番と9番の穴: 初期設定の時のみ使います。2個のピンを差して位置出しを行います。

1番の穴: 36分割

1番と3番の穴: 72分割

1番、2番、3番、4番の穴: 144分割

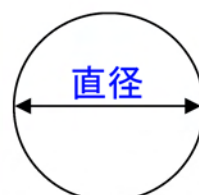
5番の穴: 24分割

5番と7番の穴: 48分割

5番、6番、7番、8番の穴: 96分割

分割数の計算方法

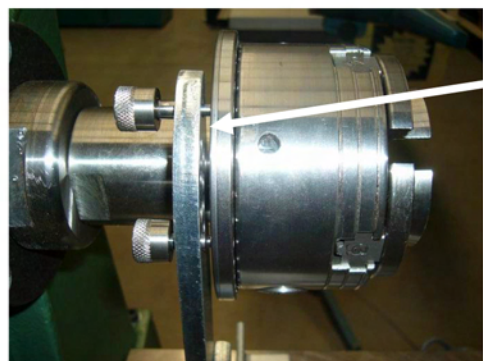
ボウルの直径から円周を計算します。直径 $\times 3.14$
ルーターで掘る溝の幅と、隣の溝との隙間のを加算
して、円周を割ります。その数字の一番近い分割数を
上記から選びます。



インデックスアタッチメントの旋盤への取り付け



1、位置出しのため、1番と9番の穴にピンを差します。ブラケットをチャックとヘッドストックの間に取り付け、完全には締め付けしないでおきます。



2、インデックスプレートとブラケットの間は3~4mmの隙間が出来るようにします。



3、ブラケットのボルトを締めたり、ゆるめたりしてピンが自由に入出力できるようにします。



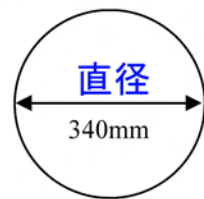
4、ベッドに取り付けている中央のボルトを緩めに締め付けて、ピンが自由に動くかどうか確認してください。



5、ブラケットが旋盤のベッドに直角になっているかどうか確認してから、すべてのボルトを完全に締め付けます。その後ピンが自由に出入りするかどうか、再度確認してください。

インデックスアタッチメントの使い方

インデックスアタッチメントの使い方の例を書きます。分割数の計算方法は、直径が340mmのボウルの場合、円周は $340\text{mm} \times 3.14 = 1,068\text{mm}$ になります。溝の幅を4mm、溝間の隙間を3.5mmとすると、両方を加算して7.5mmになります。 $1,068 \div 7.5 = 142.44$ ですが、一番近い分割数は144になります。



1、ピンを1番の穴に差しして1回転させると36分割が出来ます。



2、ピンを1番から3番に差し替えて、1回転させると72分割になります。溝は36分割の丁度中間に入ります。もちろん材料はチャックから取り外しません。



3、ピンを2番に差しして一回転させると1つ飛びに144分割の溝を入れることが出来ます。



4、ピンを4番の穴に差しします。残りの溝を入れることが出来ます。

